

# 単元構想シート

## ① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

安心して住み続けられる町とはどんな町だろう。

## ② 単元を貫く問い（単元を通して考えを深めていく「問い」）

命を守るためには何が大切だろう。

## ③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・地域の防災に関係あるものは、何があるだろう。
- ・熊野町の土砂災害の被害は、どれくらい大きかったのだろう。
- ・役場ではどんなことを取り組んでいるのかな。
- ・防災センター防災倉庫の役割や工夫について、詳しく知りたい。
- ・家族や自分には、どんな備えができるかな。
- ・地域での取組はあるのかな。
- ・命を守るために、私たちにできることは何だろう。

### 「みんなで守ろう 大切な命」

- ① 広島県や熊野町での自然災害について調べる。
- ② 豪雨によってどのような被害があるのか調べ、学習の課題を立てる。
- ③ 災害が起こった時誰がどのような支援を行っているかを調べ、関係機関の働きや連携について知る。
- ④ 熊野町の防災の取組を調べる。
- ⑤ 自分たちにできることについて考える。
- ⑥ 自分たちが調べたことや考えたことを家族に伝えるためにまとめ、発表し、関心を高めてもらう。
- ⑦ 土砂災害に備えて、適切な行動がとれるか、学習を通して学んだことをふり返る。

## 第4学年 「総合的な学習の時間」学習指導案

指導者 石飛 佳苗子

- |         |   |                       |
|---------|---|-----------------------|
| 1 日     | 時 | 令和4年11月1日(火) 第2校時     |
| 2 学年・学級 |   | 第4学年(男子8名 女子14名) 計22名 |
| 3 単元名   |   | 「みんなで守ろう 大切な命」        |

### 4 単元について

#### (1) 単元観

近年日本各地で起きている自然災害やそれに伴う被害の様子から、学校での防災教育が重要になっている。広島県内には土砂災害危険箇所が約32,000箇所もあり国内で1番多い。平成30年には熊野町においても家屋の損壊だけでなく人的な被害も発生している。災害発生時に備えてマイタイムラインを作成したり、避難経路を確認したりするなど自分の命を守るために、個人の防災意識を高めることが大切である。本単元では、過去の土砂災害について調べたり、地域の関係機関や人々が自然災害に対して様々な協力をして対処してきたことを調べたりすることを通して、町や住民が協力し安心して暮らせる町を作っていこうとしていることを知っていく。その気付きを自分たちにできることは何か話し合ったり、学習したことを保護者や地域に発信したりしていく学習意欲へとつなげ、自分たちの生活との関わりを考えることを通して、地域の中で命を守るための安心・安全について考えていく単元として設定する。そして、これはSDGsにおける「住み続けられるまちづくりを」を学べる単元でもあると考える。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、1学期の総合的な学習の時間に、防災教室での学びから、ハザードマップで自宅の場所を確かめ、マイタイムラインを作成したり、災害時には命を守るために進んで避難したりすることの大切さについて考えてきた。しかし、実際に避難行動に移したり持ち出し袋を備えたりする経験が少ないなど知識と行動にはズレがある。また、学校や校区でのバリアフリーやユニバーサルデザインによる工夫について調べ、新聞にまとめて発表する学習を通して、情報を収集する力、気付きを発表する力は身に付いてきている。しかし、話し合いを基に課題を設定したり、集めた情報を整理したり比較したり関連付けたりして考える力はまだ十分付いているとは言えない。

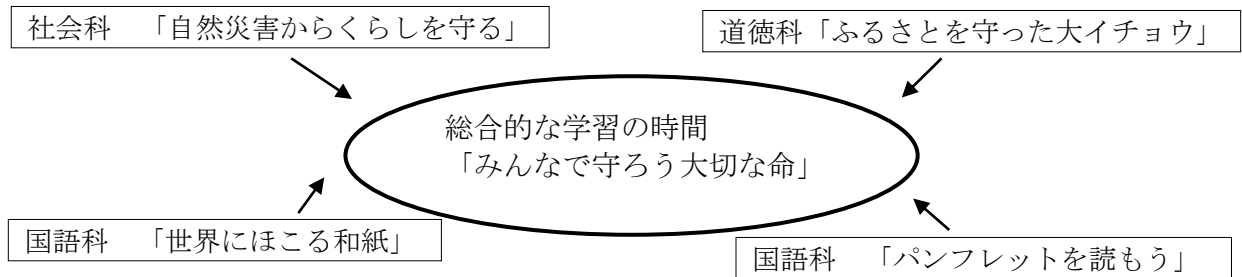
#### (3) 指導観

指導にあたっては、導入時に熊野町で発生した自然災害を通して災害の恐ろしさに気付かせ、防災学習や具体的な取組を行う必要性を実感させる。どのような備えが必要なのか、発生した場合は誰がどのように人々の生活を守っていくのかについて、自分たちの生活経験や過去の災害に照らした話し合いを基に課題を設定する。本単元では、熊野西部防災交流センターや東部防災交流センターの見学や、「くまの被災誌」の写真や、役場の方からの話から情報を集め、自分たちの生活との関わりを意識させながら、どのような備えが必要か考えたり、意見交換する場を設定したりしながら、みんなで力を合わせる大切さに気付かせたい。また、災害時と災害時ではない時の町での取組を比較して考える中で、過去の災害での経験を生かした住民のための設備、普段からの備えがいざという時の避難につながることなど、自分たちの安全を守るためにどんなことをしてもらっているか理解させる。さらに知るだけでなく自分たちにできることを考えていき、今後の生活に具体的な行動として生かしていけるようにしたい。単元の最後に、自分たちが学んだことやできることをグループごとにまとめ、保護者へ発信して、命を守る行動の第一歩とさせたい。





### 5 単元の目標

土砂災害から人々を守る活動について調べることを通して、町や地域の人が様々な協力をして対処してきたことや、災害に備えて様々な備えをしていることが分かり、学んだことを生かして自分たちの安心安全を守るために、自分たちにできることを考え、発信することができるようにする。

## 6 単元の構成



## 7 指導計画 (26時間)

(時間)	学習活動	他教科との関連	評価方法
1. 災害が起きたら (3)	<p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県で過去に発生した自然災害の種類を知り、様々な被害が生じることを理解する。</li> <li>・ 防災教室での学びを振り返ったり、校区のハザードマップや土地の様子を調べたりする。</li> <li>・ 土砂災害と人々の避難について関心をもち、自分達の命や暮らしをだれがどのようにして守ることができるのか学習課題を立てる。</li> <li>・ 学習課題を解決するための学習計画を立てる。</li> </ul>  	<p>社会科 「自然災害からくらしを守る」</p>	<p>発言、行動観察、ワークシート</p>
2. 熊野町の防災の取組を調べる (10)	<p><b>情報の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域にある避難施設へ見学に行き、防災設備と、それらの設置されている場所について係の人に話を聞き、調べる。</li> <li>・ 災害が起きた時、どのような活動をして命を守っているか調べる。</li> <li>・ 防災安全課の人から災害に備える準備や対策をしているか話を聞き調べる。</li> <li>・ 学校や家庭・地域の自治会が取り組む災害への備えを調べる。</li> </ul>  	<p>道徳科 「ふるさとを守った大イチョウ」</p>	<p>発言・インタビュー メモ・ワークシート 行動観察</p>

広島県は日本一危険箇所が多いことを知り、自分たちが生活している熊野町について調べてみたい。  
災害から生活や命を守るためにどんな工夫があるのか、自分たちは何ができるのか調べたい。

砂防ダムを造ることで、災害からみんなの生活を守ることができていることが分かった。

避難所で安心して過ごすための工夫がたくさんある事が分かった。

	<p style="text-align: center;"><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題を確かめ、調べてきたことを振り返る。</li> <li>・誰がどのような取り組みをしたか、調べたことを整理する。</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に対して自分たちができることを考える。</li> </ul>		
<p><b>3. 学習したことを整理してまとめ、発表の準備をしよう (9)</b> 【本時15/26】</p>	<p style="text-align: center;"><b>まとめ・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてきた取組の中から、自分が特に大切だと思うものを選び、テーマ別にグループに分かれ、学習内容を整理して発表の準備をする。</li> </ul>   <p>劇がいいね。ニュースより、役場の人になりきって伝えると分かりやすいと思うよ。</p>	<p>国語科 「パンフレットを読もう」</p>	<p>発言、ワークシート 発言、行動観察 発言、ワークシート</p> <p>ぼくたちは実際に持ち出し袋を作って、説明しながら見てもらいます。</p>
<p><b>4. まとめたことを、発表しよう (2)</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>まとめ・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示や発表会で考えを伝え、防災について関心を高めてもらうように工夫して発表する。</li> </ul>  <p>グループで決めた伝えたいことが一番伝わる発表の仕方を、グループで話し合って決めた。 聞いている人が、「避難所に行ってみよう。」「持ち出し袋を用意してみよう。」と思ってもらえるように、発表を工夫した。</p>		<p>行動観察 ワークシート</p>
<p><b>5. 振り返りをしよう (2)</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害に備えて、適切な行動がとれるか、学習を通して学んだことを振り返る。</li> </ul>		<p>発言 ワークシート</p>

## 8 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		分かる・できる力	表現力	向上心	思いやり
<b>単元の 評価規準</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処したり、様々な備えをしていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現する。</li> <li>地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考え表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</li> <li>学習したことをもとに地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と関わりながら取り組み問題解決しようとしている。</li> </ul>
<b>評価規準</b>	1	①必要な情報を読み取り、県内で過去に起きた災害の概要について理解している。	①災害時の自分たちの生活に着目して見出した問いを学習問題として表現している。	①土砂災害が起こった時に気がかりになることを話し合い、それらをもとに問いを見出している。	
	2	②見学やインタビューメモや写真から災害に対する準備や対策をしていることを理解している。		②地域で起こり得る災害を想定し、日頃からどんな備えが必要か自分たちにできることなどを考えながら調べている。	
	3		②災害に備えるための取組や自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして、図・写真・言葉などでまとめている。		①友達と関わりながら取り組み問題解決しようとしている。
	4		③調べたり考えたりしたことを分かりやすく表現して、命を守る行動について伝えている。		②命を守る行動の大切さを自分の思いをもって家族に発信している。
	5	③多くの人の努力で安心・安全が守られていることに気づき、自分は何ができるかまとめている。		③互いの考えの良さに気づき、もっと地域の人に知ってもらいたいという思いをもつ。	

## 9 単元の評価基準

		A	B	Bに到達させるための手立て
分かる・できる力	②	さらに調べたいことを見出しながら調べ、理解しようとしている。	行政などの関係機関は町民の命を守るために相互に連携して対処していることを理解している。	それぞれの働きを比較したり分類したりしながら整理して示し理解できるようにする。
表現力(本時)	②	グループで発表方法を選ぶために、自分の考えと理由を友だちの考えと比較したり付け加えたりしながら整理して相手に伝えている。	グループで発表方法を選ぶために、自分の考えと理由を伝えている。	出された考えと似ている考えや違う考えかを見付けながら、自分の考えを横に加えて伝えられるようにする。
向上心	①	災害への備えについて経験や知っていることを基に知りたいことを整理して、学習問題をつくっている。	災害への備えについて知りたいことを整理して、学習問題をつくっている。	災害が自分たちの生活にどのような影響があるのか具体的に想像させて考えられるようにする。
思いやり	①	友達を助けたり友達の考えや思いを理解したりしながら取り組んでいる。	友達と関わりながらまとめ、発表に向けて準備しようとしている。	友達の考えを聞いたり、協力して準備をしたりできるようにする。

## 10 本時の展開 (本時 15/26)

### (1) 本時の目標

家族に「これならできそうだ」と思ってもらうためには、どのような提案方法がいいか話し合っ  
て決めることができる。

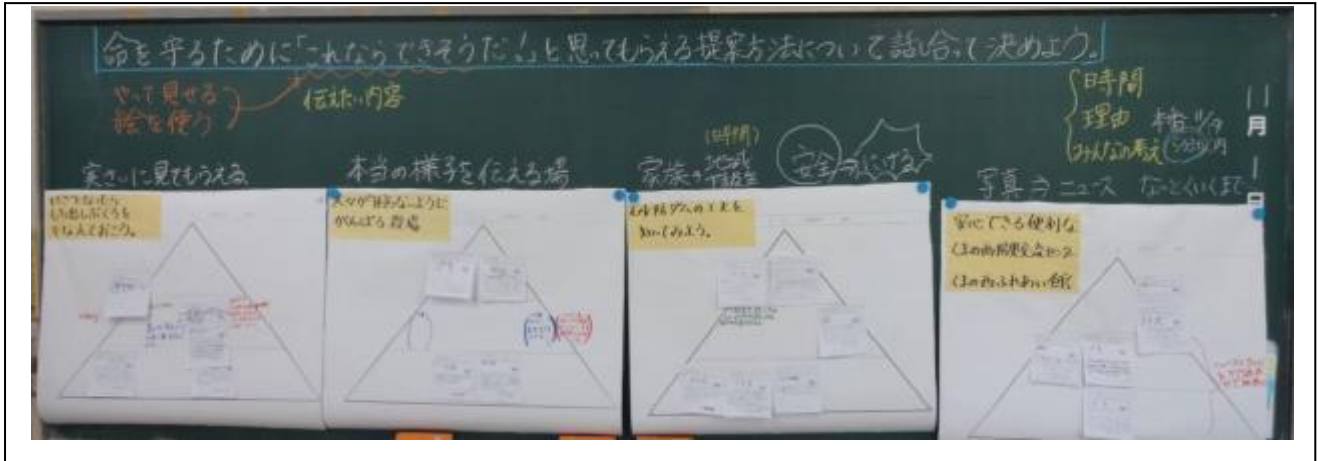
### (2) 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の姿	指導上の留意点(・) 評価の視点(☆)
導入	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 前時に自分で考えておいた方法を確認する。</p>	<p>○自分で考えた提案方法と理由を確かめましょう。</p>	<p>・個人で意見がもてるようにあらかじめ方法と理由をカードに書いておく。</p>
展開	<p>3 方法を考えていくうえで気を付けたいことを交流する。</p>	<p>○提案を決める時に気を付けたい視点は何ですか。</p> <p>・1番知らせたい内容に合った方法を選ぼう。 ・家の人が「できそう」と思えるものにするためには、分かりやすく伝えていきたい。 ・親しみがもてるように楽しい発表にしたい。 ・どうすれば命が守れるか具体的に分かるようにしたい。</p>	<p>・ピラミッドチャートに書き、どの表現方法にするか理由を聞き合いながらメリットデメリットを出し合って比較しながら絞っていくようにする。</p>



	<p>4 グループでどんな提案方法にするか話し合う。</p> <p>劇がいいね。ニュースより、役場の人になりきって伝えると分かりやすいと思うよ。</p> 	<p>○自分達のグループの提案はどの方法を活用するか話し合しましょう。</p>  <p>クイズをして、答えで実物を見てもらうと興味をもって、聞いてもらえるね。</p> <p>○グループで出た悩みや、これなら上手く伝わると考えたことを理由も話しながら交流してみましょう。</p> <p>ぼくたちは実際に持ち出し袋を作って、説明しながら見てもらいます。</p>	<p>☆家の人が積極的に参加・参画しようとするために、参加者を意識した視点で考え話し合うことができる。【表②表現力】 (話し合いの様子、ワークシートの観察) Cの児童へは、自分の考えた理由や方法が似ている人に付け加えられるか確かめさせるようにする。</p>
	<p>5 全体で交流し合う。</p> 	<p>実際にあると分かりやすいね。</p> <p>重さも伝えたらどうですか。</p> <p>避難グッズを持ってきて重さを調べてみようよ。</p>	
	<p>6 グループで整理する。</p> 	<p>今日はまだ一つの考えにまとまらなかったから、二つの方法を合わせて考えて決めよう。</p> <p>○みんなの考えを参考にして、グループの考えを修正してみましょう。</p> <p>説明の後、家の人にどう感じたか、話してもらいたいね。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>7 まとめをする。</p> <p>8 振り返りをする。</p> 	<p>○今日の学習をまとめましょう。 ・分かりやすく伝えて、実際にできそうだと思うてもらえる方法を決めることができた。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。 ・これまで考えてきたことを家の人にやってみようと思ってもらえるように次回から準備を頑張りたい。</p>	<p>・振り返りを通して「学習発表参観日」への意欲と見通しがもてるようにする。</p>
<p>発表方法を一つに絞って決定しないことで色々な方法の良さを組み合わせて発表すると伝わりやすいことに気付くことができた。</p>			

## 11 板書



### まとめ

分かりやすく伝えて、実際にできそうだと思ってもらえる方法を決めることができた。